

	中期経営目標 【3年間】	短期経営目標 【1年目】	目標達成のための手立て	評価項目<評価方法>	評価	中間評価
確かな学力	主体的に学び、 協働し合う生徒 の育成	・「付けたい資 質・能力」育成 のための「主体 的な学び」に向 けた基礎・基本 の徹底と深い 学びの充実	・「主体的な学び」をめざした課題設定及び 指導課程の工夫をした単元計画の作成と、 全教科の授業研究会実施による検証。 ・広島県公立高等学校入試問題分析を踏まえ た各教科定期試験における記述式評価問題 の作成	・「授業がわかる、おもしろい、楽しみである」の3項目で肯 定的な回答をする生徒の割合が 70%<生徒アンケート> (1, 2 学期末実施)	4	・「授業がわかる、おもしろい、楽しみである」の3項目について、7月に実施した生徒ア ンケート結果は次の通り目標値を上回った。 授業がわかる(91.5%) 授業が面白い(83.7%) 授業が楽しみである(73.1%) ・「主体的な学び」を目指し、夏季休業中を利用して全教職員が単元開発を行った。今後、 開発した単元の実践や、授業研究会等を通して生徒の資質・能力の育成に取り組んでいく。 ・各教科において、広島県公立高等学校入試問題を意識した定期試験問題の作成に取り組ん でいる。今後は教科グループのみならず、学校全体で評価問題のあり方について研修等を行 っていく。
				・「各教科において評価問題を開発することができた」と回答 する職員の割合が 100%<職員アンケート> (3 学期実施)	3 学期 実施	
	基礎・基本の定 着 及び課題発 見・解決学習の 充実	・主体的・対話 的で深い学び に向けた授業 改善	・「主体的な学び」を促す学習課題の設定と 指導課程の工夫をした単元計画作成、及び 全教科における授業研究会実施による検 証。  ・「めあて」と「まとめ」の整合性により、 「振り返り」を充実させる。  ・学力調査・定期試験において、正答率 30% 未満の生徒への補充的学習を実施する。	・全教科において、指導者招聘による校内授業研究会を実施。	2	・今年度は美術・体育・技術家庭科での指導者招聘による校内授業研究会の実施は行わない 運びとなった。各教科や校内で研修を行っていく。 ・1学期の授業に関して「各教科、各単元において生徒の学び合い・教え合う場を意図的に 設定した」の項目への肯定的評価は 100%だった。 授業において主体的な学びを促すための取り組みとして定着がうかがえる。
				・「各教科、各単元において生徒の学び合い・教え合う場を意 図的に設定した」と肯定的な回答をする職員の割合が 70%< 職員アンケート> (1, 2 学期実施)	4	
豊かな心・健やかな体	感謝の心をもっ て行動できる生 徒の育成	・生徒支援の充 実(積極的・組 織的な生徒指 導体制の充実)	・生徒指導部会週 1 回開催による、情報共有 化と計画的指導確立 ・Q-Uアンケート分析結果を活かした集団づくり の推進 ・計画的な個人面談による生徒の実態把握 ・職員は本校設定の退校時刻を守る	・「先生はあなたの良い所を認めてくれていますか」について 肯定的回答が各学年とも全国平均・県平均を上回る。	4	・「先生はあなたの良い所を認めてくれていますか」の項目についての結果は肯定的評価が 89.2%で目標値を上回った。全国学力・学習状況調査における生徒質問紙における県平均 (73.5%)、全国平均(81.4%)  ・2学期現在で、水曜日に本校設定の退校時刻を守ることができている教職員の割合はおよ そ 80%である。仕事の効率化、見通しを持った取組を推進していく必要がある。
				・水曜日に、本校設定の退校時刻を守ることができる職員が 90% 以上	3	
	豊かな心・健やかな体	・生徒会活動等 の充実による 自己指導能力 の育成	・生徒会活動や部長会を活性化し、生徒が主 体的に活動する手立ての工夫を行う。 (生徒朝会の定例化や集会で目標や課題の共 有化を図る)  ・学校行事や部活動を通して、生徒の主体的 な活動を推進し、思いやりの心やリーダー 性を発揮できる生徒を育てる。 (学校・生徒会行事や執行部会・部長会・ CS 活動等を活用する)	・「行事(体育大会・文化祭など)や生徒会活動(執行部・各 種委員会など)、学級活動(係・班など)、部活動で、自分 の役割を果たそうとしている」生徒 90%<生徒アンケート> ◎「本気で(時間いっぱい、ていねいに)掃除をしている」 「無言清掃(生徒会で設定した日)」 「誰にでも、自分からレベル5のあいさつを意識してできて いる」 「自分の学校や学級での役割を果たすことができている」生 徒 90% ・「自分たちのクラスは、互いの良さや足りないところを認め 合い、支え合おうとしている」生徒 90%以上 ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることが ある」生徒 70%以上	4 3 3 4	・「行事(体育大会・文化祭など)や生徒会活動(執行部・各種委員会など)、学級活動(係・ 班など)、部活動で、自分の役割を果たそうとしている」という設問への肯定的回答は 94.1% で、目標値を上回るが、昨年度より 0.5 ポイント減である。 ・「本気で(時間いっぱい、ていねいに)掃除をしている」という設問への肯定的評価は 91.6%であった。 ・「誰にでも、自分からレベル5のあいさつを意識してできている」という設問への肯定的 評価は 78.9%で、昨年度より 8.3 ポイント減。 ・「自分の学校や学級での役割を果たすことができている」という設問への肯定的評価は 94.1%で目標を上回った。 ・「自分たちのクラスは、互いの良さや足りないところを認め合い、支え合おうとしている」 という設問への肯定的評価は 86.3%で目標値を 3.7 ポイント下回っている。 ・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」という設問への肯定的 評価は 72.6%で目標値を上回った。
				◎体力テストにおいて全国平均以上の項目 70%以上 ・「体力を高めることを意識しながら生活している」「生活 リズムをよりよくすることを意識しながら生活してい る」生徒 85%以上 ・「休まないこと・遅れないことを意識しながら生活している」 「授業・掃除・学活等の開始時間を守っている」「身だしな み(服装・頭髪)のルールを守っている」生徒 90%	4 4 4	・今年度の新体力テストの結果は 71%が全国平均を上回り、目標を達成することができた。 ・「体力を高めることを意識しながら生活している」という項目への肯定的回答は 85.7%で 昨年度より 0.2%増。「生活リズムをよりよくすることを意識しながら生活している」と いう項目への肯定的回答は 87.1%で昨年度より 1.4%減であった。 ・「休まないこと・遅れないことを意識しながら生活している」という項目への肯定的回答 は、96.1%。「授業・掃除・学活等の開始時間を守っている」という項目への肯定的回 答は 97.9%。「身だしなみ(服装・頭髪)のルールを守っている」という項目への肯定的 回答は 97.1%であった。 規則正しい生活リズムを継続・改善していくために、生活委員等の委員会活動を活性化し て啓発活動を行う。

達成値 = 肯定的評価 和 / 回答数 × 100 (%)  
達成度 = 達成値 / 目標値 × 100 (%)

〔自己評価〕	4 : 100 ≤	3 : 80 ≤	< 100
	2 : 60 ≤	< 80	1 : < 60

◎は府南学園共通項目